

NYマーケットレポート (2015年2月9日)

NY市場では、欧州市場の軟調な流れが一服し、序盤のドル円・クロス円は値を戻す動きが先行した。ギリシャが緊縮策を条件とした国際支援を拒否する方針をあらためて表明したことや、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、欧州市場ではリスク回避の動きが強まっていたものの、大きく下落した反動でユーロなどが値を戻す動きが強まった。ただ、米国の主要な経済指標の発表がなく新規材料に乏しい中、その後は全般的にもみ合いの展開が続いた。終盤には、株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円も一段の下落となる場面もあった。

2015/2/9 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	118.99	119.10	118.74
EUR/JPY	134.94	134.99	134.45
GBP/JPY	181.60	181.63	181.14
AUD/JPY	92.47	92.55	92.11
EUR/USD	1.1343	1.1347	1.1296

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	118.99	118.45
EUR/JPY	134.99	133.72
GBP/JPY	181.62	180.23
AUD/JPY	92.72	92.33
EUR/USD	1.1360	1.1270

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17711.93	+63.43
ハンセン指数	24521.00	-158.39
上海総合	3095.12	+19.22
韓国総合指数	1947.00	-8.52
豪ASX200	5814.93	-5.25
インドSENSEX指数	28227.39	-490.52
シンガポールST指数	3,418.02	-13.34

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6837.15	-16.29
仏CAC40	4651.08	-39.95
独DAX	10663.51	-182.88
ST欧州600	370.55	-2.76
西IBEX35指数	1480.01	-10.83
伊FTSE MIB指数	20366.64	-394.10
南ア 全株指数	52105.38	+107.06

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.62	118.78	118.34
EUR/JPY	134.31	134.66	133.68
GBP/JPY	180.48	180.94	180.18
AUD/JPY	92.60	92.98	92.43
NZD/JPY	87.95	88.31	87.79
EUR/USD	1.1325	1.1356	1.1270
AUD/USD	0.7807	0.7835	0.7805

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17729.21	-95.08
S&P500	2046.74	-8.73
NASDAQ	4726.01	-18.39
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	15100.70	+16.78
ボルサ指数	42810.29	+94.86
ボベスパ指数	49382.58	+590.31

2/10 経済指標スケジュール	
08:50	【日】1月マネーストックM3
08:50	【日】12月第三次産業活動指数
09:01	【英】1月BRC小売売上高
09:30	【豪】1月NAB企業景況感指数
09:30	【豪】1月NAB企業信頼感指数
09:30	【豪】4Q住宅価格指数
10:30	【中】1月消費者物価指数
10:30	【中】1月生産者物価指数
15:45	【スイス】1月失業率
16:45	【仏】12月製造業生産指数
16:45	【仏】12月鉱工業生産
17:15	【スイス】1月消費者物価指数
18:00	【ノルウェー】1月生産者物価指数・消費者物価指数
18:30	【英】12月製造業生産高・12月鉱工業生産
18:30	【南ア】4Q失業率
20:00	【南ア】12月製造業生産
23:00	【米】1月NFIB中小企業楽観指数
00:00	【米】12月卸売売上高
00:00	【米】12月卸売在庫
00:00	【米】2月IBD/TIPP景気楽観指数
00:00	【米】12月JOLT労働調査[求人件数]
00:00	【英】1月NIESR GDP予想

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1241.50	+6.90
NY 原油	52.86	+1.17
CME コーン	391.25	+5.50
CBOT 大豆	978.50	+5.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.64%	0.65%
3年債	1.10%	1.01%
5年債	1.49%	1.48%
7年債	1.78%	1.79%
10年債	1.96%	1.96%
30年債	2.53%	2.53%

2/10 主要会議・講演・その他予定	
・G20財務相・中央銀行総裁会議	

(出所: SBILM)

22 : 30

◀ 要人発言 ▶

黒田日銀総裁～イスタンブールで記者団に

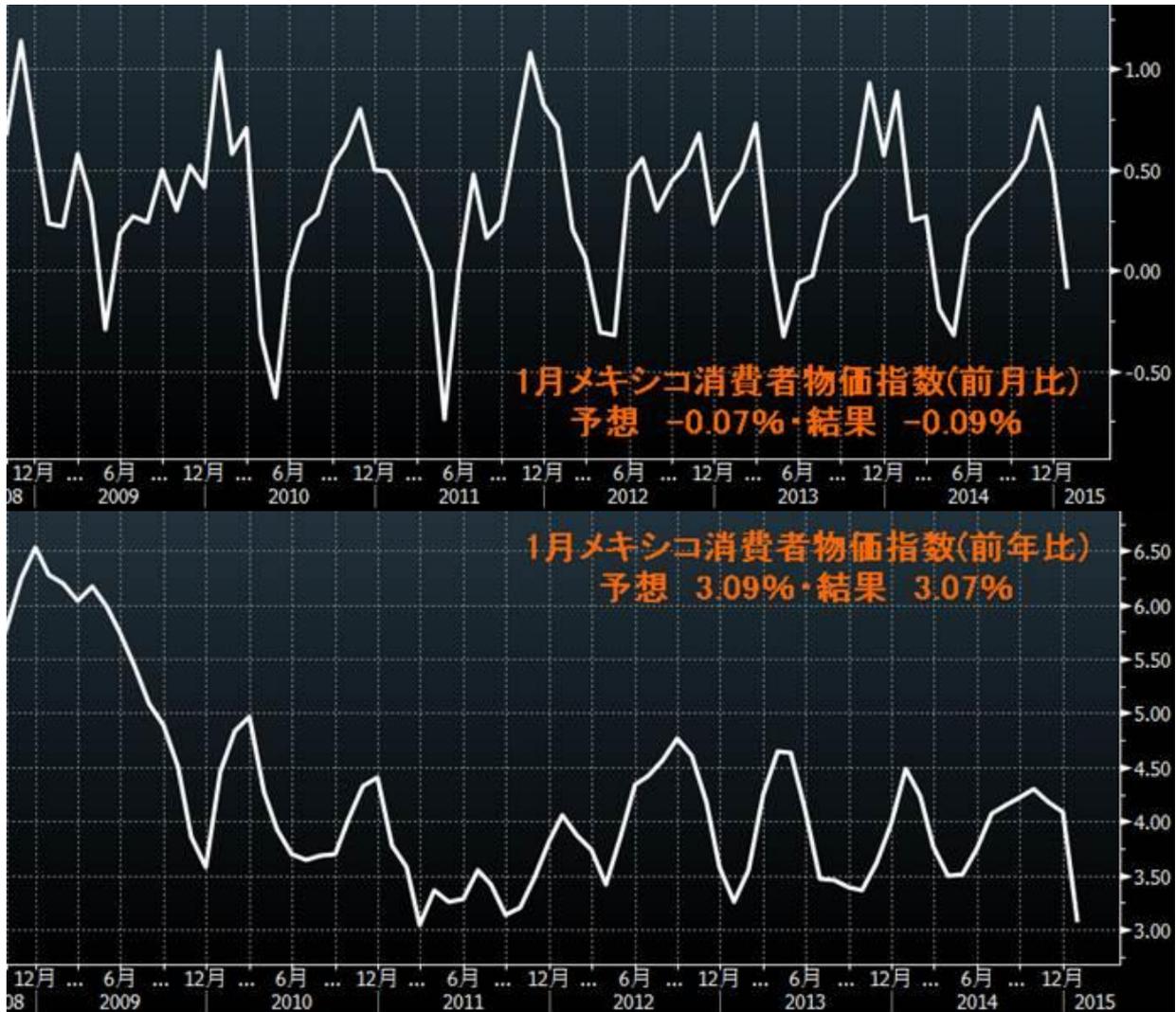
- ・「円安は日本経済にとって問題を含んではない」
- ・「原油安、世界経済には全体としてプラス」
- ・「G20 では、通貨安というテーマは特に上がっていない」
- ・「日銀は為替市場を引き続き注視していきたい」

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月メキシコ消費者物価指数(前月比) -0.09% (予想 -0.07%・前回 0.49%)

1月メキシコ消費者物価指数(前年比) 3.07% (予想 3.09%・前回 4.08%)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17743.92	-80.37
ナスダック	4730.14	-14.26

(出所: SBILM)

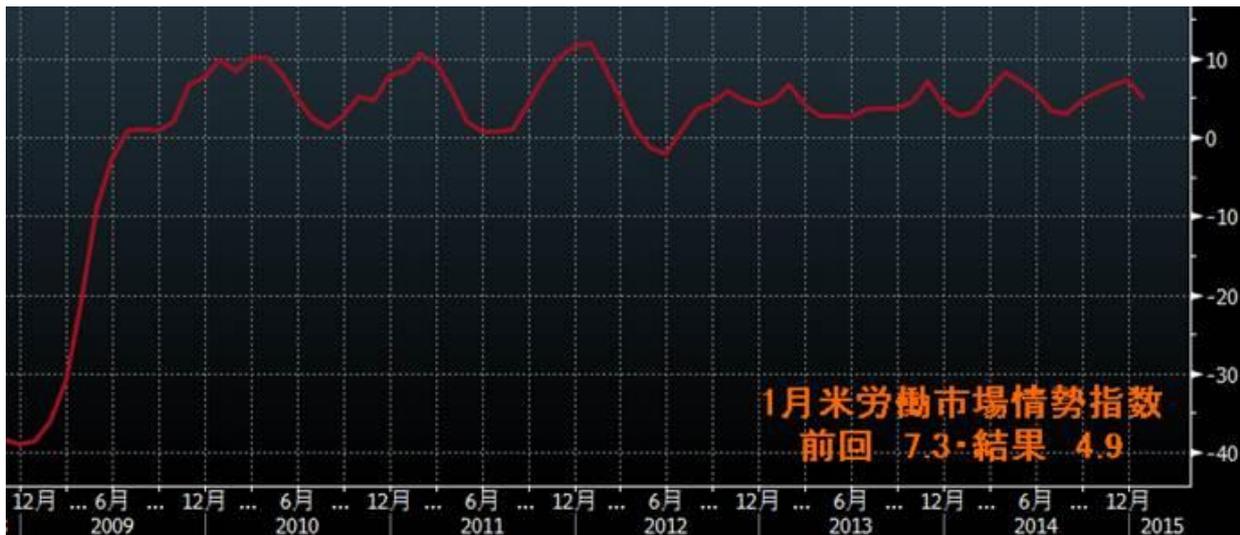
《海外の話題》

OPEC（石油輸出国機構）は、2015年の世界の原油供給の伸び見通しを下方修正した。昨年の価格急落を受けて米業者が生産ペースを落とすとみている。OPECは、非加盟国の生産拡大見通しを日量42万バレル引き下げ、今年は85万バレル伸びるとした。米国については13万バレル下方修正。米国からの供給は、日量82万バレル増の1364万バレルと予想し、2014年の半分程度の伸びになるとした。

0 : 02

《経済指標の結果》

1月米労働市場情勢指数 4.9（前回 7.3）
 前回発表の6.1から7.3に修正



(出所:ブルームバーグ)

0 : 30

《NY株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、欧州の主要市場が軒並み大幅安で推移していることを嫌気した売りが出る一方、原油相場の上昇を好感して石油関連株が買われるなど、売買が交錯する展開が続いている。

0 : 35

《要人発言》

プロッサー・フィラデルフィア連銀総裁

- ・「米国にデフレリスクは見られない」
- ・「FOMCは危機時の政策からの脱却を検討すべきだ」
- ・「欧州経済の軟調、米国への影響は極めて軽い」
- ・「経済データは、近い将来の利上げの正当性を示唆」
- ・「米国債利回りの低下、完全には理解していない」

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米FRBが発表した1月の労働市場情勢指数は+4.9となり、前月の+7.3ポイントから伸び幅が縮小した。労働市場情勢指数は19種類の統計を基に算出される。失業率と民間部門の雇用者に重点が置かれており、労働参加率や賃金、雇用・解雇なども考慮される。労働省による毎月の雇用統計発表後の最初の営業日に発表される。

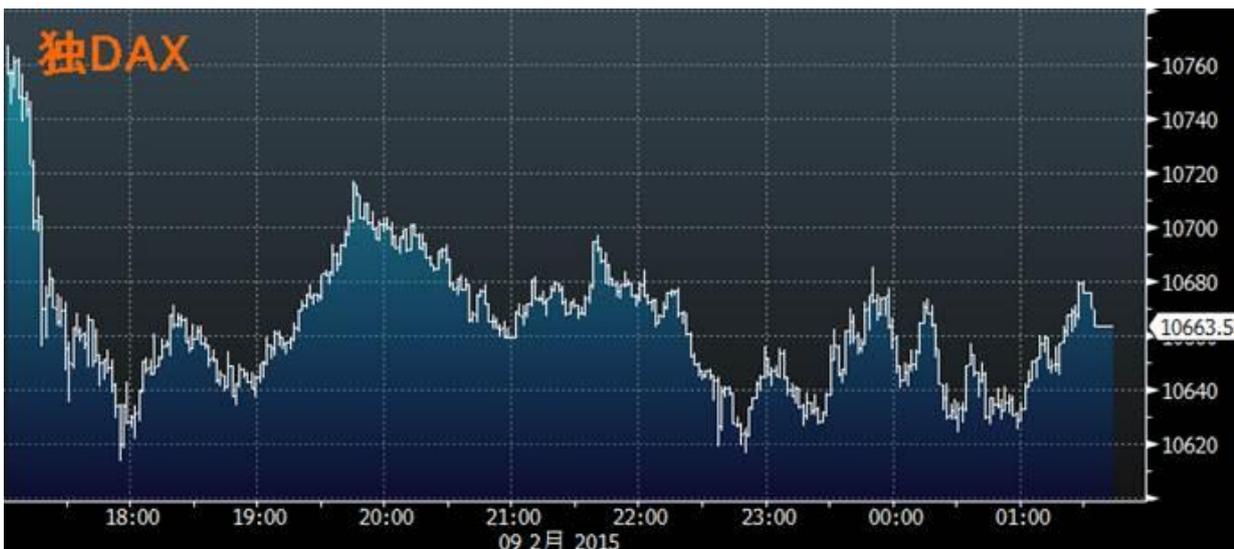
(2) コンファレンスボード(全米産業審議会)が発表した1月の雇用トレンド指数は127.86となり、前月比+0.5%となった。前年同月比は+7.6%となった。なお、12月は128.43から127.17に下方改定された。マクロ経済・労働市場リサーチマネージングディレクターは「雇用トレンド指数は、今年上半期を通して力強い雇用の増加が続く可能性があることを示唆している」と指摘。「結果として賃金の伸びも加速することから、生産性の伸びの低さやドル高で苦しんでいる企業の採算性を圧迫する」と述べた。雇用トレンド指数は、消費者信頼感指数の就労関連指数や週間失業保険給付申請件数など、雇用に関する8つの指数を基に算出する。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6837.15	-16.29
仏 CAC40	4651.08	-39.95
独 DAX	10663.51	-182.88
ストック欧州 600 指数	370.55	-2.76
ユーロファースト 300 指数	1480.01	-10.83
スペイン IBEX35 指数	10364.90	-208.20
イタリア FTSE MIB 指数	20366.64	-394.10
南ア アフリカ全株指数	52105.38	+107.06

(出所:SBILM)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、ギリシャの債務問題やウクライナ情勢の先行き懸念が高まったとの見方から、主要株価は続落となった。また、中国の貿易統計が振るわなかったことも売り材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17779.94 (-44.35)、 S&P500 2053.53 (-1.94)、 ナスダック 4739.79 (-4.61)

《欧州のポイント》

- ①2月のユーロ圏センチックス投資家信頼感指数は、+12.4と1月の+0.9から大幅上昇し、4ヵ月連続の上昇となり、9年ぶりの高水準となった。期待指数は+27.5（1月+13.5）と9年ぶりの高水準、現況指数は-1.8（前月-11.0）となった。センチックスは、ECBの追加緩和策が主因との見方を示したが、ギリシャの債務問題によりセンチメントが悪影響を受ける可能性もあると示唆した。
- ②トルコ中銀総裁は、目標の5%に近いインフレ率を達成すれば今年の経済成長にとって「多大な貢献」になると述べた。総裁はG20関連会議で、開発省の試算として、政府が計画する経済政策が実行されれば成長率が1%ポイント押し上げられるだろうと述べた。
- ③イタリア中銀は、2014年末時点の国内銀行の不良債権額が前年末比+15.2%の計1836億7000万ユーロ（2085億ドル）になったと発表した。増加率は11月末時点の18.4%から縮小した。金融機関を除く企業向けの銀行融資は12月に-2.3%となった。減少は32ヵ月連続となったが、減少率は2年ぶりの低水準となった。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ギリシャの債務問題への懸念に加え、中国の1月の輸出入が振るわなかったことで世界経済の先行き不透明感が強まり、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。前週の大幅下落を受けて値頃感が出たことによる買いも入り底固い動きとなった。

午前の利回りは、30年債が2.48%（前週末2.53%）、10年債が1.92%（1.96%）、7年債が1.75%（1.79%）、5年債が1.46%（1.48%）、3年債が1.00%（1.01%）、2年債が0.63%（0.65%）。

《 海外の話題 》

南アフリカのプラチナ生産大手アングロ・アメリカン・プラチナムが発表した2014年12月期決算は46%の減益となった。ストライキやプラチナ価格の下落を受けて、予想以上の減益となった。プラチナ業界では、昨年5ヵ月間にわたってストが続いた。プラチナ価格も昨年7月以降、約20%下落している。

4:30

NY金は、中心限月が前週末比6.90ドル高の1オンス=1241.50ドルで取引を終了した。

5:20

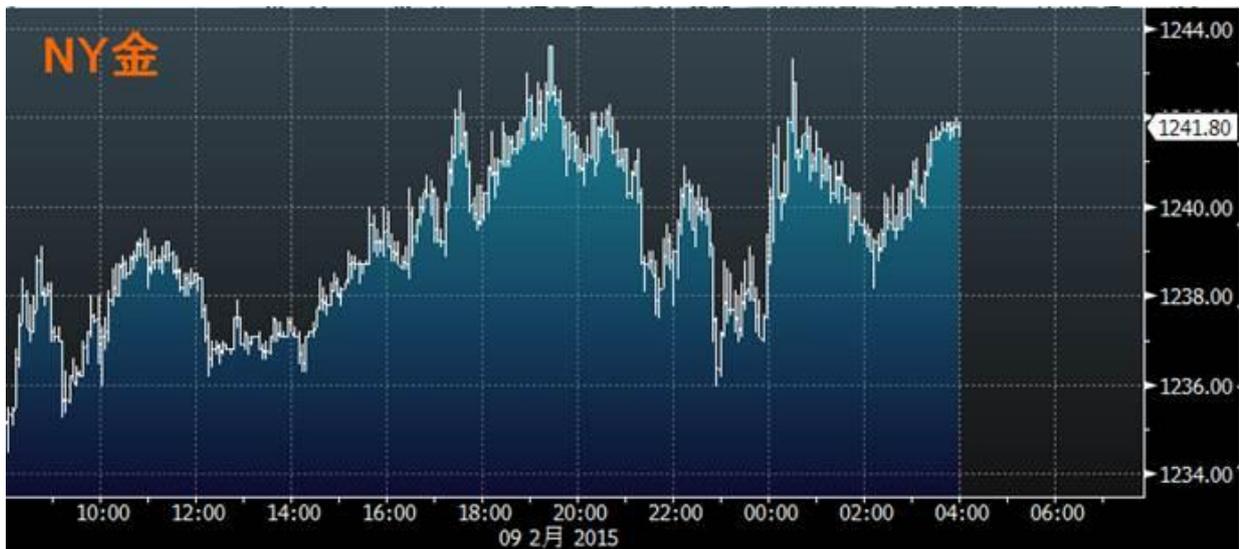
NY原油は、中心限月が前週末比1.17ドル高の1バレル=52.86ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1241.50	+6.90
NY 原油	52.86	+1.17

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

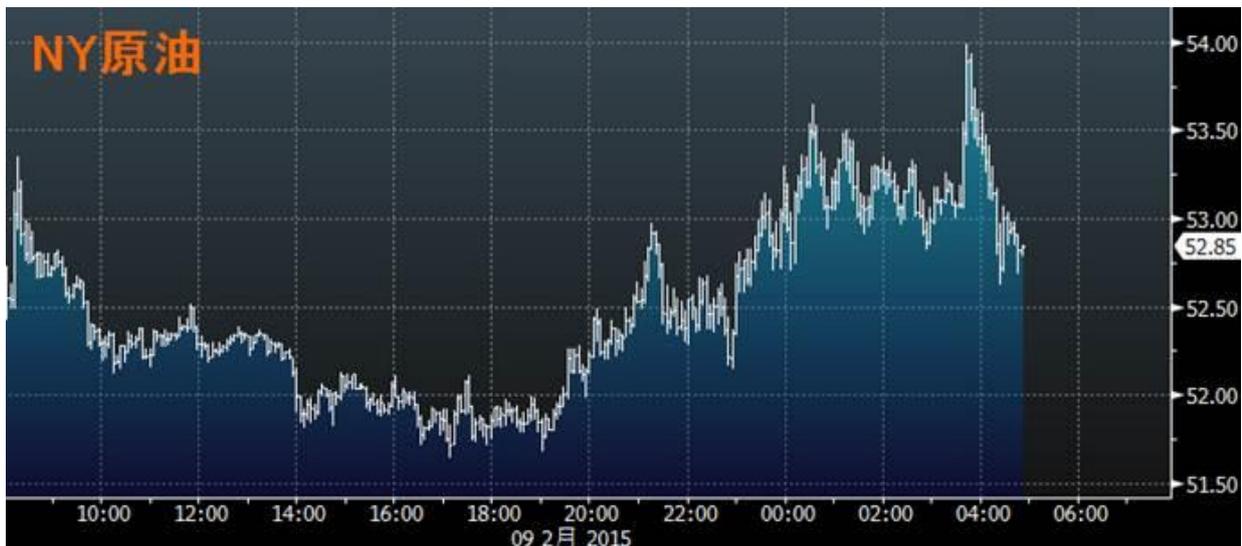
NY金は、ギリシャの新政権が緊縮策を条件とするEUなどの金融支援プログラムの延長を拒否したことで、ギリシャ財政の先行き懸念が強まり、比較的安全な資産とされる金を買う動きが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY原油市場 ▶

NY原油は、OPEC（石油輸出国機構）が月報で今年の新加盟国の供給量見通しを下方修正する一方、OPEC産原油の需要見通しを引き上げたことで需給の緩みに対する警戒感が後退し、買いが優勢となった。



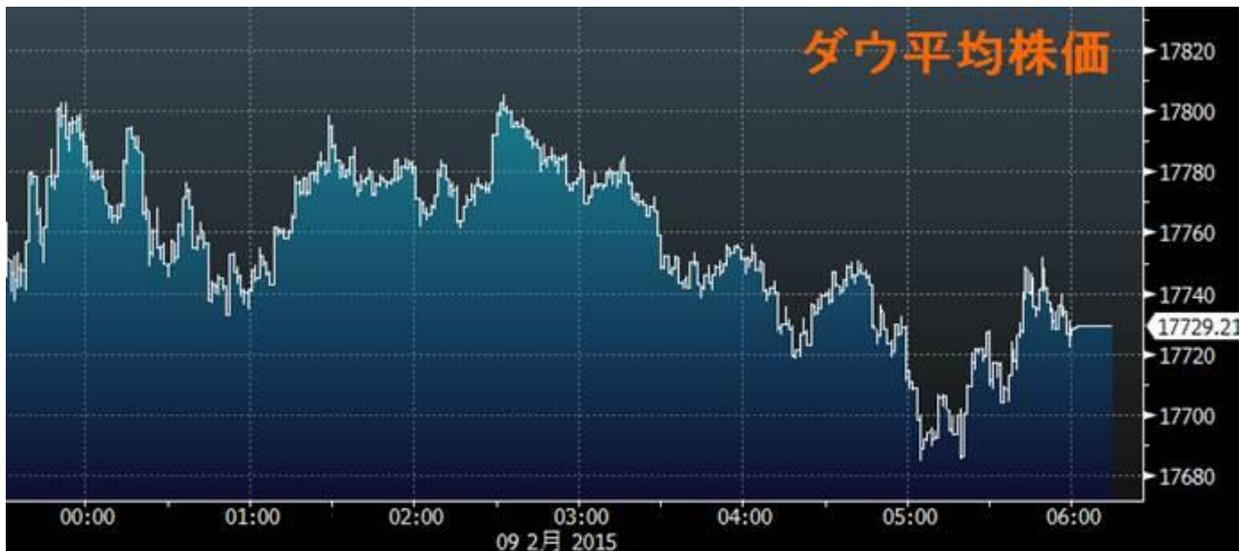
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17729.21	-95.08	17821.49	17685.32
S&P500種	2046.74	-8.73	2056.16	2041.88
ナスダック	4726.01	-18.39	4749.47	4719.61

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、欧州の主要市場が軒並み大幅安で推移していることを嫌気した売りが出る一方、原油相場の上昇を好感して石油関連株が買われるなど、序盤は売買が交錯する展開が続いた。しかし、終盤には下げ幅を拡大する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、終盤には下げ幅を拡大する動きとなり、一時前週末比で 138 ドル安まで下げる場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.62	118.78	118.34
EUR/JPY	134.31	134.66	133.68
GBP/JPY	180.48	180.94	180.18
AUD/JPY	92.60	92.98	92.43
NZD/JPY	87.95	88.31	87.79
EUR/USD	1.1325	1.1356	1.1270
AUD/USD	0.7807	0.7835	0.7805

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、欧州市場の軟調な流れが一服し、ドル円・クロス円は堅調な展開で始まった。しかし、米株価が軟調な動きとなったことから、上値の重い動きとなった。その後、株価が一段の下落となったことから下落する場面もあったが、終盤には値を戻す動きも見られた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。